

お

## 帰りサニー！ 希少クロサイ 10年ぶりにふるさとに

12月14日、希少動物のクロサイ「サニー」が10年ぶりにかみね動物園に帰郷しました。2009年に生まれたサニーは、2012年に鹿児島県立平川動物園へ移っていました。サニーは今後、12月6日に愛媛県立とべ動物園から来園した「フー」とともに計画的な繁殖を目指す予定です。生江信孝園長は、「10年ぶりに里帰りのサニーちゃん。フーや父メトロと3頭仲良く暮らし、赤ちゃん誕生に期待しています」と語りました。



日

## 立固有の早咲き桜 日立紅寒桜が開花

1月4日、かみね公園頂上駐車場ロータリーの日立紅寒桜が開花しました。昨年より8日早い開花となり、2月下旬から3月上旬にかけて見ごろを迎える見込みです。平成13年に市民公募により日立紅寒桜と名づけられたこの品種は、市内に280本ほど植えられており、かみね公園のほか、日立市役所、JR日立駅中央口駅前広場、日高交流センター、多賀市民プラザなどで見ることができます。

さ

## くらのまちを未来へ 日立市建設業協会から桜の寄附

1月16日、令和7年に創設70周年を迎える日立市建設業協会の鈴木一良会長、沢畑正剛・白土仙一郎両副会長が市役所を訪れ、記念事業として、かみね公園に5本の桜（ジンダイアケボノ）を寄附することを報告しました。同協会は、寄附する桜を令和7年までの3年の間に公園内に植樹します。鈴木会長は、「さくらのまち日立をこれからも守っていくために役立ててほしい」と話しました。



地

## 元の水産加工品を生かして 2社が県水産製品品評会で受賞

令和4年度茨城県水産製品品評会で、小松水産が「農林水産大臣賞」を、飛勘水産が「茨城県知事賞」と「大日本水産会長賞」を受賞しました。小松水産の小松伸克さんは、「日立の水産資源の良さを生かし、地元を盛り上げていきたい」、飛勘水産の飛田佳英さんは、「地元の魚を使った商品が選ばれてうれしい。幅広い年代がおいしく食べられる商品を作り続けていきたい」とそれぞれ受賞の喜びとこれからの抱負を語りました。

# 私の学校自慢

日立市の小・中学校には、学校独自の魅力や特徴が数多くあります。  
今回は、宮田小学校と仲町小学校の児童が、自分の学校の魅力や特徴をご紹介します！

## 歴史ある宮田小学校

私たちが通っている宮田小学校は、来年で150周年をむかえます。そんな宮田小学校の魅力を2つ紹介します。

1つ目は、「宮田っ子タイム」があることです。宮田っ子タイムは、毎週水曜日、昼休みの時間を長くしてたくさん遊ぶことができる時間です。この宮田っ子タイムでは、他の学年の児童と遊んで交流することができます。最近では1年生と6年生がいっしょに遊んでいる姿が多く見られます。

2つ目は、イチョウの木を通して、さまざまな交流と関わりが生まれて

いることです。イチョウの木は毎年秋ごろになると黄色く色づいてきます。そして、それとともに葉やぎんなんがとても多く落ちていることがあります。そこで6年生は「落ち葉はき」と「ぎんなん拾い」をすることにしました。今ではすっかりそのことが習慣づいています。その姿を見た下級生も少しずつ手伝いをしてくれるようになり、他学年との新たな交流が生まれてきています。

宮田小学校は歴史があり、学年に関係なく、仲の良い学校です。そんな宮田小学校の伝統をこれからも受けついで守っていきたいです。



宮田小学校 6年  
ねもとはなか  
根本華花さん



イチョウの落ち葉はき

## 僕らの伝統 僕らの誇り 仲町小学校

仲町小学校は、創立100年を超える学校です。そんな仲町小学校には、代々受け継がれてきたたくさんの伝統があります。その中の一つである「八木節」について紹介します。

「八木節」とは、代々先輩方から受け継いできた和太鼓を用いた合奏のことです。八木節は毎年、6年生から4年生へと引き継ぎを行います。引き継いだ4年生が成長し、6年生になると、また新しい4年生へと和太鼓のバトンを繋ぎます。受け継いだ八木節は、学校行事であるメロディフェスティバルや市の音楽祭で発表します。先輩方の思いを感じ

ながら、必死に練習を重ね、自分の成長やクラスの絆を深めることで、卒業に向けての一步を踏み出すきっかけになりました。

「八木節」がある仲町小学校に、僕は、感謝しています。今年度で僕は卒業してしまいましたが、伝統をずっと下級生が受け継ぎ、仲町小に誇りを感じながら学校をリードしてほしいと思います。仲町小学校は、僕らの「誇り」です。そんな仲町小が、より活気あふれるすばらしい学校になることを願っています。



仲町小学校 6年  
いしくろあひろと  
石黒宏澄さん



メロディフェスティバルで発表する6年生